

農業の魅力発見セミナーを開催しました

○実施日 令和7年9月3日（水）

○場 所 木曽町 木曽青峰高等学校

○内 容

長野県では、農業高等学校の生徒等が、地域で活躍している農業経営者等の話を聞くことで、農業や食に関する理解を深めていただくことを目的としたセミナーを開催しています。

木曽地域では木曽青峰高等学校と連携して、第1回目を9月3日に開催しました。

内容は、木曽の地域ブランド「すんき」の振興についての講義です。すんきとは木曽地域の伝統野菜である赤カブの茎葉を乳酸発酵させた伝統食品で、赤カブのカブ部分は甘酢漬けに加工利用されています。木曽の赤カブの一種で、幻の赤カブといわれた「三岳黒瀬蕪」を復活させて現在まで活躍されている木曽町三岳農村女性加工グループ「三岳グルメ工房」代表西尾禮子さんを講師に迎え、森林環境科の2年生9名に対して講義をしていただきました。

三岳黒瀬蕪は、昭和の時代に旧三岳村黒瀬地区でダム建設に伴い消滅したと思われたカブを1戸の農家が種を保存しており、それを譲り受け徐々に増やして現在までに至った経緯や、すんき等の振興や加工所の運営についての苦労話をお話ししていただきました。

西尾さんから学生に挑戦を忘れずに自分の道を歩んでほしいとお話しされるなど、エールを送られ、学生たちも真剣なまなざしで聴講していました。



写真：講義の様子